

かえる便り 30年度27号

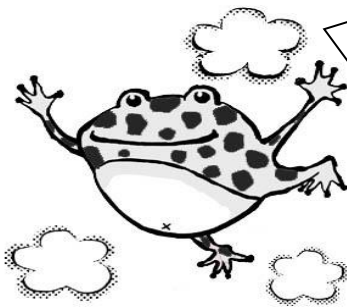
平成31年2月4日

立春の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

2日に行われた新人戦の対出雲工業戦、多数の皆様に応援していただき大変ありがとうございました。皆様のご声援も虚しく0対2で敗退しました。このチームになってからいろいろな事が起き、計画通りに練習を進めることが出来ませんでした。大会直前まで多くの選手を試し選考に悩みましたが、試合では求めていることがある程度実践できていたので少し評価できます。ただ、試合直前や試合後にも“運氣”を失

うような行動がありました。氣配りや当たり前の行動が出来ない事が、今のチームの弱さであり伸びない原因です。手助けはしますが、心を変えるのは自分です。

“嬉しいこと”、“嫌なこと”などについて部員達に聞きました。いろいろな答えがありますが、「できた喜び」・「分かる喜び」や「人が喜び笑顔になる」をあげた部員がいます。知的なことや技能面での出来る喜びや新たな発見は個人的に嬉しいものです。また、自分の言動が人を助け・喜んでくれ、その笑顔を見たら周囲の人達の心をも潤わしますね!!チームの運氣をあげるために、一人ひとりが仲間を喜ばす言動をして欲しいものです。



他人が汚したトイレで用を足すことは不快ですね!?トイレの汚れは誰でも分かりますが、怠けや嘘で人を騙し、その場をうまくやり過ごした自分の心の汚点に気付かない人が多いと思いませんか?組織をよくするために、他人を喜ばす努力をしたいものです…。人を成長させるのは人です!!

問題行動を起こすことは、良くないという事は誰でもわかります。起きたことに対して学校や部できちんとけじめをつけさせたら、社会の常識では一応の決着をつけたこととなります。そのようなことより大きな問題は、嘘や詭弁でチームの足を引っ張る行為をすることです。詭弁を弄する人は、何を狙いとしているのか図りかねます?

“どのような人材を育成したいか” 問われたら、みなさんはどの様に答えますか?私は、“当たり前のことを当たり前にできる” ようになってほしいと思い指導しています。部の方針3つは、高校生として人として当然のことだと思のですが…?私の思いが届いてないと感じることが多々あります。目的が明確であれば、手本として真似たい人を選ぶだろうし、その結果人生が変わると思うのですが…。